令和３年度鹿児島県地方創生推進有識者懇話会　議事要旨

１　開催日時
　令和３年10月14日（木）9:30～12:00

２　開催場所
　鹿児島県庁６階大会議室

３　議事概要
（１）　前田総合政策部長あいさつ

（２）　委員紹介

（３）　効果検証及び意見交換
・　地方創生推進交付金（令和２年度実績）について　（資料１）
・　地方創生拠点整備交付金（令和２年度実績）について　（資料２）
・　地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）（令和２年度実績）について　（資料３）
・　第２期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略における「目指すべき結果（評価指標）」の令和２年度実績について　（資料４）

４　主な意見等
《地方創生推進交付金について（資料１）》
〇　かごしまの農林水産業を支える担い手確保・育成事業
・　新規の漁業就業者等の確保に関し，成功事例等の情報について，地元自治体への提供があるとよい。
・　第一次産業の就業者を増やすために，就業案内をこれまで行っていない所にも行うなど，アプローチの仕方を変えてみたらどうか。
〇　中小企業経営革新・新規展開支援事業
・　新たなアイデア・発想，新分野での起業への支援は非常に大事であり，起業後に事業が長続きするような支援も重要になってくる。
〇　外国人材受入活躍推進プロジェクト
・　外国人材の方々との本当の多文化共生社会を作っていくためには，挨拶ができるような密接な関係をいかにして構築していくかということが非常に大切であり，また信頼していただけるような取組が必要である。
・　外国人材を活用している企業の対応がどうなのか，劣悪な条件で働かせていないかというようなところも国と協力して対応しながら，地域における多文化共生を進めてもらいたい。
〇　プロフェッショナル人材戦略拠点事業
・　事業承継については，多くの中小企業が抱えている問題であり，事業者数の減少は地方創生に非常に大きな影響があるため，引き続き，着実に関連事業を進めていただきたい。

・　身内ではない第三者でも事業承継は可能なので，うまくマッチングできる仕組みがあるとよい。

〇　歩きたくなるまちづくりで目指す「ウェルネスかごしま」推進プロジェクト

・　御楼門など鹿児島の魅力のインターネットでの発信について，子供にも読みやすいものになっていくとよい。インターネットでの調べ学習をする子供たちの情報活用能力の向上にもつながる。

《地方創生拠点整備交付金について（資料２）》

・　特になし

《地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について（資料３）》

・　特になし

《第２期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略における「目指すべき結果（評価指標）」について（資料４）》

・　特になし

《その他》

・　リモートワークなどの新型コロナを契機に行われるようになった取組については，ウィズコロナやアフターコロナを見据えて進めていっていただきたい。

・　コンテストやイベントの告知を大学に周知する際，県から学生や教員へ直接うまくつながってＰＲすれば，応募者が増加したり学生のモチベーションが上がったりするのではないか。

・　なぜ目標が達成できなかったのか，新型コロナの問題と原因を分析することによって，リスクが非常に高いものに対してどのように対応すればよいのか，今後ウィズコロナあるいはポストコロナでどのように対応すればよいのかなど，新しい運営方法等を確かめていく契機になると思うので，目標と実績の乖離は重く受け止めて対応していくことが必要ではないか。

《まとめ》

外部有識者からの評価として，前年度に地方創生関連交付金等を活用して実施した事業のうち，新型コロナウイルスの影響により目標値に届かなかったものについては「新型コロナウイルスの影響により効果の発現は十分ではないものの，総合戦略の目標達成に向けて有効であった」，それ以外の事業については「総合戦略の目標達成に有効であった」との取りまとめがなされた。